

住用中学校在校生、11名の皆さん、こんにちは

私は、小学校5学年から住用小学校で学び、その後住用中学校を卒業しました。川や、山、海で遊び、友と学び、スポーツにも励み、その事が今日に至る私の人生の大きな糧となりました。

皆さんの前途は洋々たるもので、無限の可能性を秘めています。是非、よく学び、よく遊び、将来を見据え、世界にも目を向けつつ自身の可能性を高めて行って下さい。

卒業後のこれまでを振り返り、今、思うところを3つ皆さんにお伝えしたいと思います。

### 1. 奄美、住用の豊かな自然環境の下、暖かい地域の見守りの中で学べる事に感謝し、自信と誇りを持って進みましょう。

- 1) 私はこれまで多くの外国を訪ね見聞して来ましたが、奄美の自然は世界を見渡しても比類無き素晴らしい宝です。豊かな自然は、やさしくおらかな心を育てくれます。
- 2) D&I (多様性の尊重と受容・共生) は社会や企業において重要なテーマです。集落、地域社会が一体となって子供を見守る奄美の文化のおかげで、皆さんには、期せずしてD&Iの素地がしっかりと備わっています。

### 2. 井の中の蛙にならず、大海を知りましょう。

- 1) 子供の頃、よく母に「井の中の蛙大海を知らず」との諺を聞かされました。現状に安住すると、自身の成長は停滞します。視点を大きく世界へ向け、精進しましょう。
- 2) 中学時代、私の成績は奄美では上位でしたが、鹿児島市内の高校入試時の成績は550人のなかで、中の下でした。新しい大海を知る一歩となりました。

### 3. 良く学び、よく遊びましょう。

- 1) 皆さんの将来の可能性を広げる意味からも、基礎学力の充実は大切です。学習方は個人により千差ですが、私は家での勉強はあまりせず、学校での授業時間に全集中した記憶があります。
- 2) 放課後は、バレーボール、相撲、卓球、など様々な活動に参加しましたが、多くの気づきがありました。11名というハンディはありますが、是非スポーツにも励んでもらいたいと思います。

令和4年4月  
ANAホールディングス株式会社  
代表取締役社長

芝田 浩二

私の執務室（40階）の様子です  
「行不由径」



「窓からの景色」

